



第5章 町民や関係者の意向等

5-1 町民を対象とした公共交通に関するアンケート調査

① 調査目的

本調査は、町民の日常的生活移動（通勤・通学、買い物、通院、私用等）に関する行動の把握に加え、現在、町内を運行している各種公共交通の利用状況・公共交通へのニーズ把握を目的に調査を実施しました。

② 調査実施期間及び配布・回収方法

<調査実施期間>

令和4年9月8日（木）～10月11日（火）

<配布・回収方法>

- 配布・回収ともに郵送にて実施しており、各世帯2票を配布し、高校生以上の自動車を運転しない方や公共交通（バス、ハイヤーなど）を利用したいと思っている方を優先的に回答していただきました。なお、本調査ではインターネットによる回答も実施しました。

③ 調査対象

本町に居住する1,970世帯を無作為で抽出し、配布

回収数：646世帯/1,970世帯 = 32.8%

※909票回収（うち、インターネットを通じた回答は186票）

④ 調査内容

本調査の調査内容は以下の通りです。

表 5-1 調査内容

分類	内容	備考
個人属性	性別、職業、住所、免許・自動車の保有状況、自動車の運転意向、運転困難時の代替移動手段、免許返納で困ること	個人属性として、基礎的な情報整理に加え、他項目とのクロス集計などで活用
日常の生活行動	通勤・通学、買い物、通院、私用等における行動の頻度、行先、交通手段、行動する曜日、行動時間	各目的の行動の実態把握で活用
町内を運行する各種公共交通の利用状況及びニーズ ⁶	市内循環線（中標津市内線）、町営バス路線、阿寒バス（株）・根室交通（株）の広域バス路線における利用状況、利用する際に困っていること、困っていることが改善された場合の外出機会の変化・回数、利用しない理由	各種公共交通の利用状況や利用する際に困っていること（改善点）、利用しない理由の把握で活用

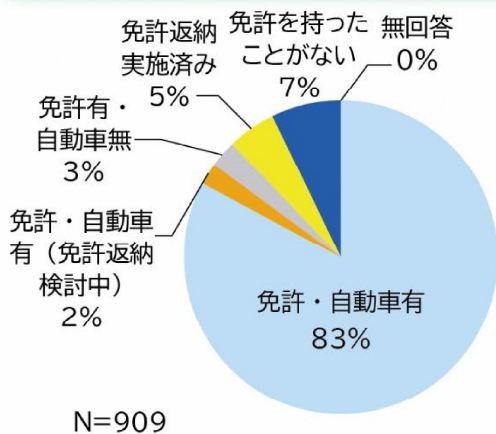
⁶ 本調査の回答様式では、回答のしやすさを考慮し、中標津市内線は「市内循環線」、ハイヤーは「タクシー」といった町民の方々になじみのある表記にしているため、P53～60における結果の概要においても、同様の表記となっています。

(2) 調査結果概要

1) 免許・自動車の保有状況及び将来における運転困難時の想定移動手段について

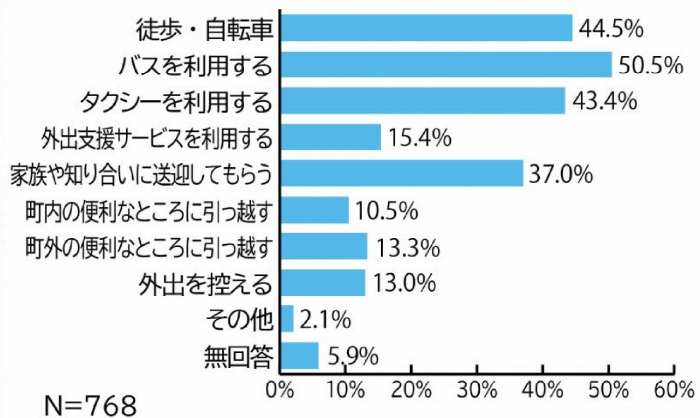
- アンケート回答者の8割以上は、運転免許及び自動車を有している
- 将来的に運転が困難となった場合は、バスやタクシーといった公共交通を利用する回答が多い
- 運転が困難（免許返納等）となった場合、買い物や通院ができなくなることが困る、とする回答が多い

問4 免許・自動車の保有状況【1つだけ】



「1. 免許・自動車有」及び
「2. 免許・自動車有（免許返納検討中）」
の方が回答

問6 運転困難時の移動手段【いくつでも】



問7 免許返納で困ること【いくつでも】

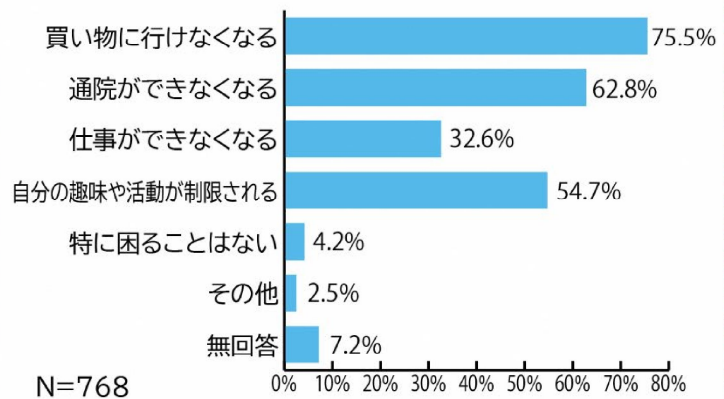
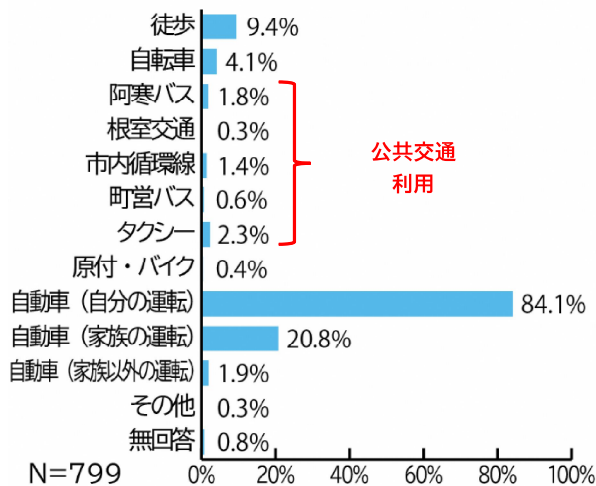


図 5-1 運転困難時の移動手段等

2) 現在の移動手段及び町民の生活圏について

- 買い物時においては、アンケート回答者の8割以上が自動車（自分で運転）で移動しており、公共交通を利用した移動は10%未満
※ 通院時は、自動車利用が低下し、公共交通の利用が増加する傾向
- アンケート回答者の生活圏（通勤・通学圏、買い物圏、通院圏、私用圏）は、約8割が町内で完結
- 一方で、買い物や通院、私用については、近傍の中心市である釧路市までの移動が見られる

問9-③ 買い物時の移動手段【いくつでも】



問10-③ 通院時の移動手段【いくつでも】

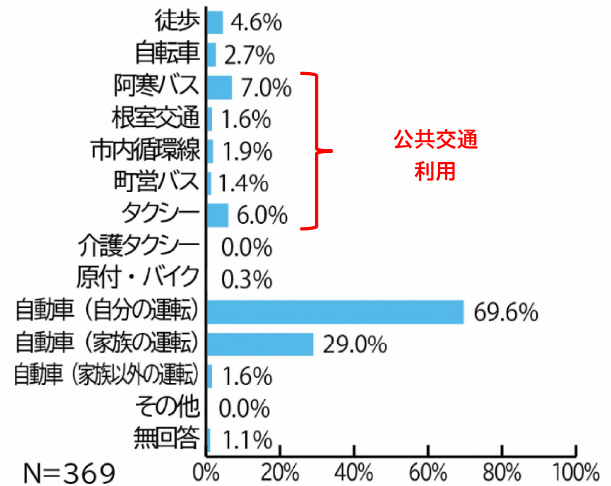
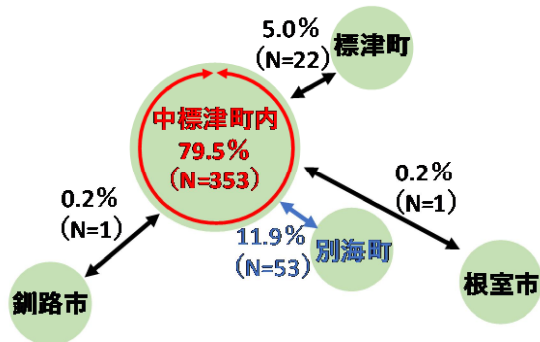
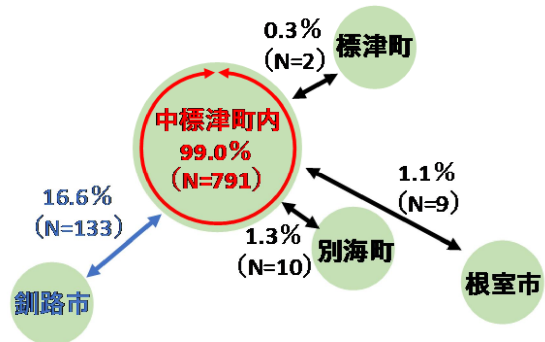


図 5-2 買い物・通院時の移動手段

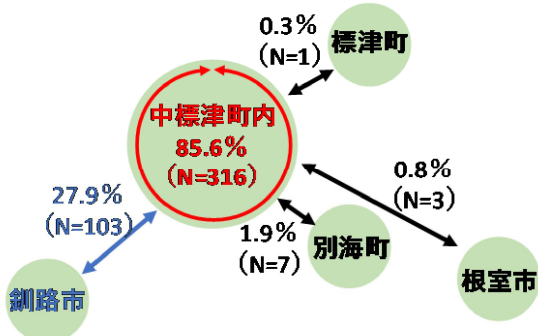
問8-② 通勤・通学圏



問9-② 買い物圏



問10-② 通院圏



問11-② 私用圏

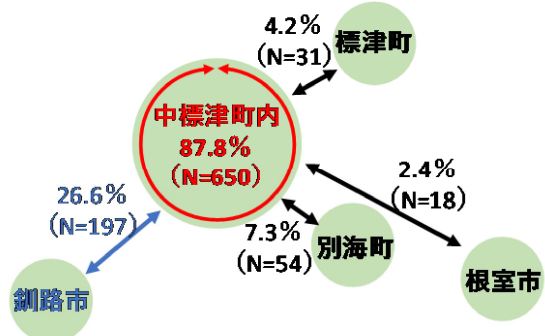
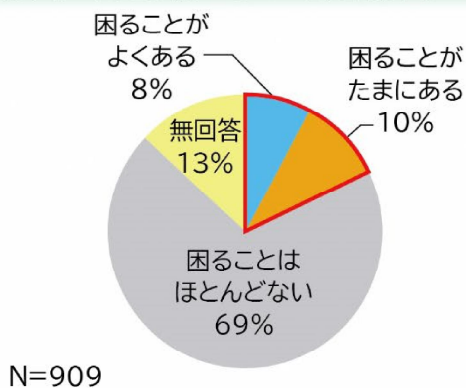


図 5-3 町民の生活移動の状況（通勤・通学圏及び通院圏抜粋）

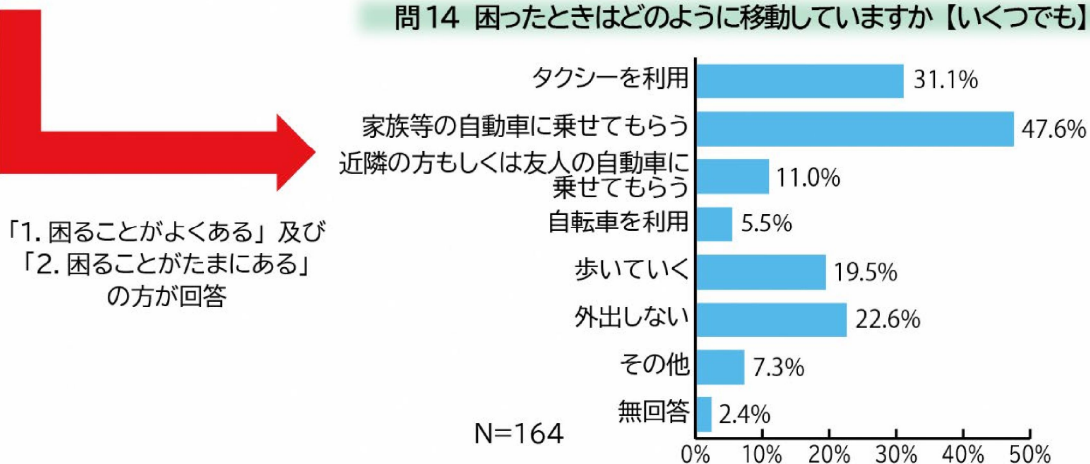
3) 外出時に交通手段がなく困ることについて

- アンケート回答者のうち、約2割が「外出時に交通手段がなく困る(困ることがよくある(8%)、困ることがたまにある(10%))」と回答
- 困った際の移動手段は、「家族等の自動車に乗せてもらう」の回答が最も多く、次いで「タクシーを利用」が多い
- 一方で、交通手段がないことで、「外出を我慢する(いつもある(2%)、そこそこある(3%)、たまにある(9%))」とした回答は約1割

問12 外出時に交通手段がなく困る頻度【1つだけ】



問14 困ったときはどのように移動していますか【いくつでも】



「1. 困ることがよくある」及び
「2. 困ることがたまにある」
の方が回答

問15 外出時に交通手段がなく、外出を我慢しますか【1つだけ】

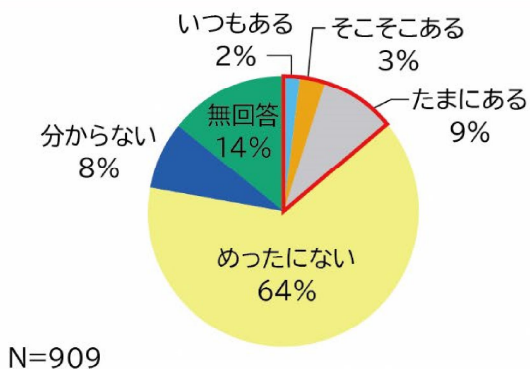
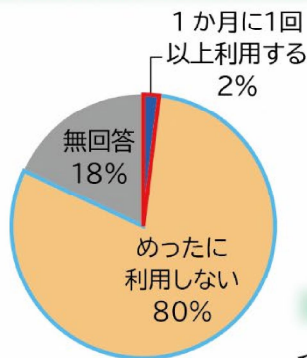


図 5-4 外出時の交通手段がなく困ること

4) 市内循環線（中標津市内線）の利用で困っていることについて

- アンケート回答者のうち、市内循環線（中標津市内線）を「1 か月に 1 回以上利用する」と回答した方は 2%
- 利用する際に困っていることで最も多かったのは「利用したい時間に運行していない」が 5 割以上であり、その他、「他のバスとの接続が良くない」とする回答が約 3 割
- 一方で、「めったに利用しない（80%）」と回答した方については、その理由として、運行サービス水準（「自宅からバス停までが遠い」や「使いたい時間に運行していない」、「行先が合わない」など）に関する回答が 5 割程度となっており、このほか、「運行していることを知らない」とする、周知不足に関する意見も挙がっている

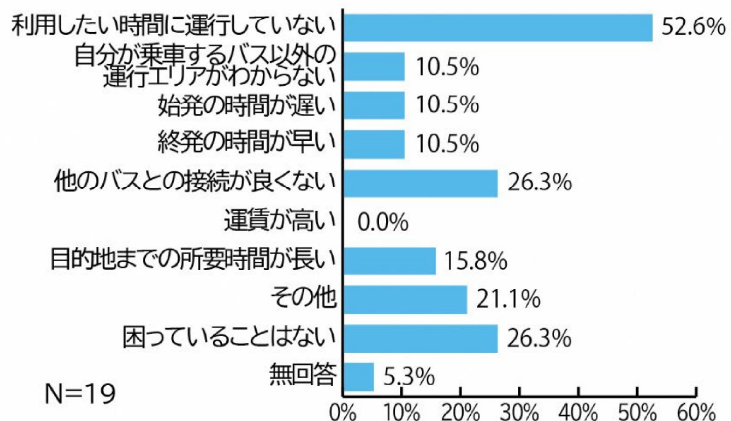
問 16-① 現在の市内循環線の利用頻度【1つだけ】



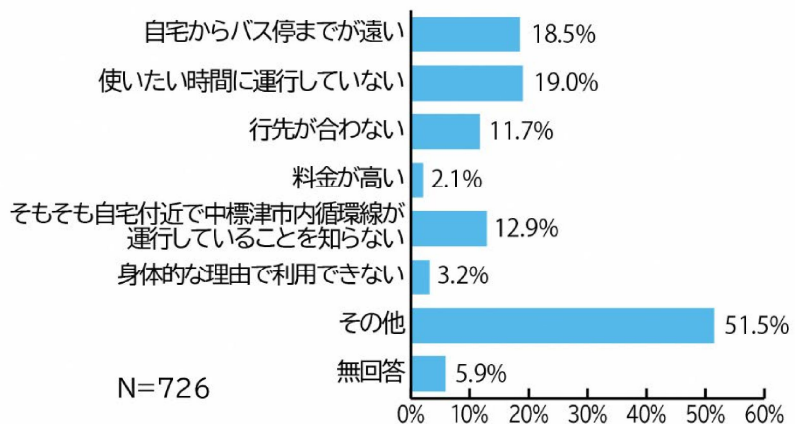
N=909

「1. 1 か月に 1 回以上利用する」と回答された方

問 17 現在の市内循環線を利用する際に困っていること【いくつでも】



問 21 市内循環線をめったに利用しない理由【いくつでも】



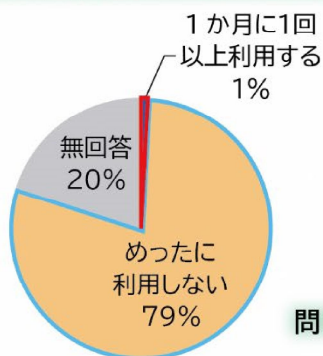
「2. めったに利用しない」と回答された方

図 5-5 市内循環線（中標津市内線）の利用で困っていること

5) 町営バスの利用で困っていること

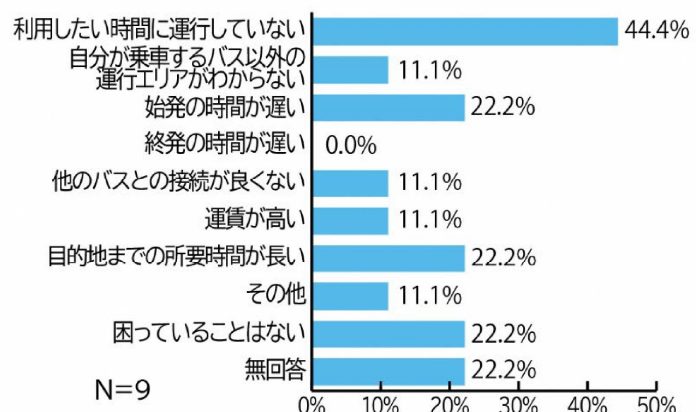
- アンケート回答者のうち、町営バスを「1 か月に 1 回以上利用する」と回答した方は 1%
- 利用する際に困っていることで最も多かったのは「利用したい時間に運行していない」が 4 割以上であり、その他、運行サービス水準（「始発の時間が遅い」や「目的地までの所要時間が長い」）に関する回答も挙がっている
- 一方で、「めったに利用しない（79%）」と回答した方については、その理由として、市内循環線同様に、運行サービス水準（「自宅からバス停までが遠い」や「使いたい時間に運行していない」、「行先が合わない」など）に関する回答が 5 割程度となっており、このほか、「運行していることを知らない」とする、周知不足に関する意見も挙がっている

問 22-① 現在の町営バスの利用頻度【1つだけ】

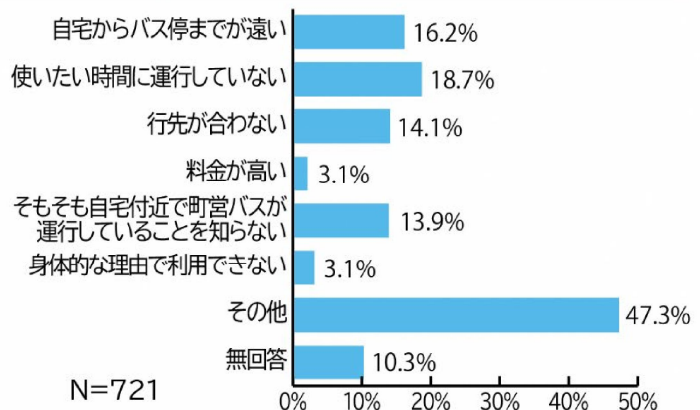


「1.1 か月に 1 回以上利用する」と回答された方

問 23 現在の町営バスを利用する際に困っていること【いくつでも】



問 27 町営バスをめったに利用しない理由【いくつでも】



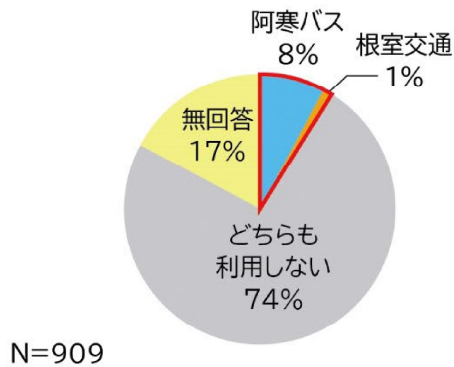
「2. めったに利用しない」と回答された方

図 5-6 町営バスの利用で困っていること

6) 路線バス（広域バス路線）の利用で困っていること

- アンケート回答者のうち、町内を運行する広域バス路線を利用している方は 9%（阿寒バス（8%）、根室交通（1%））
- 広域バス路線を利用していると回答した方のうち、「1 か月に 1 回以上利用する」と回答した方は、約 3 割
- 広域バス路線のうち、「阿寒バス」は中標津農業高等学校（計根別）への通学者の利用が多いなど、比較的町民に利用されている傾向
- 利用する際に困っていることで最も多かったのは「利用したい時間に運行していない」が約 2 割である一方で、「困っていることはない」とする回答が同程度の割合となっている
- また、「めったに利用しない（53%）」と回答した方については、その理由として、「使いたい時間に運行していない」とする回答が約 5 割と最も多い
- 一方で、「運行していることを知らない」と回答した方は、0%であり、運行自体は認知されている

問 28 現在、主に利用するバス路線【1つだけ】



問 29-① 選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】

「1. 阿寒バス」もしくは
「2. 根室交通」
と回答された方

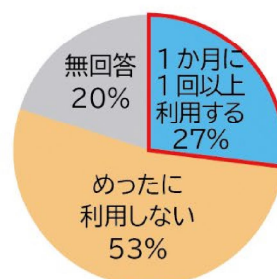
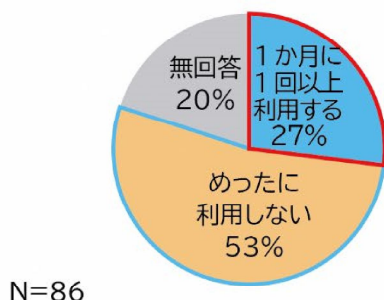


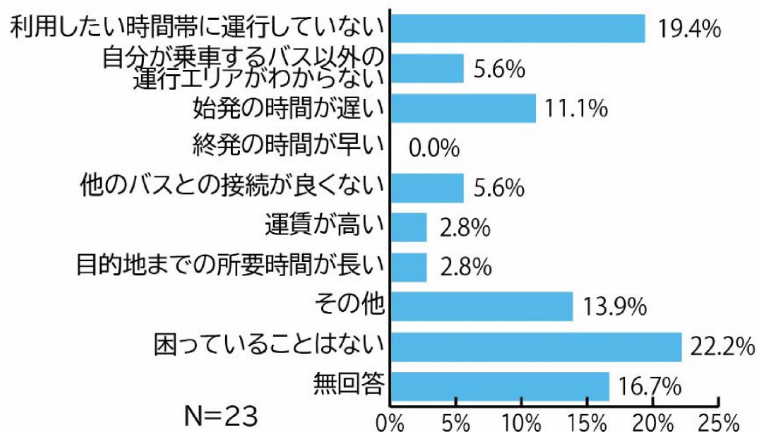
図 5-7 路線バス（広域バス路線）の利用状況

問 29-① 選択したバス路線の利用頻度【1つだけ】

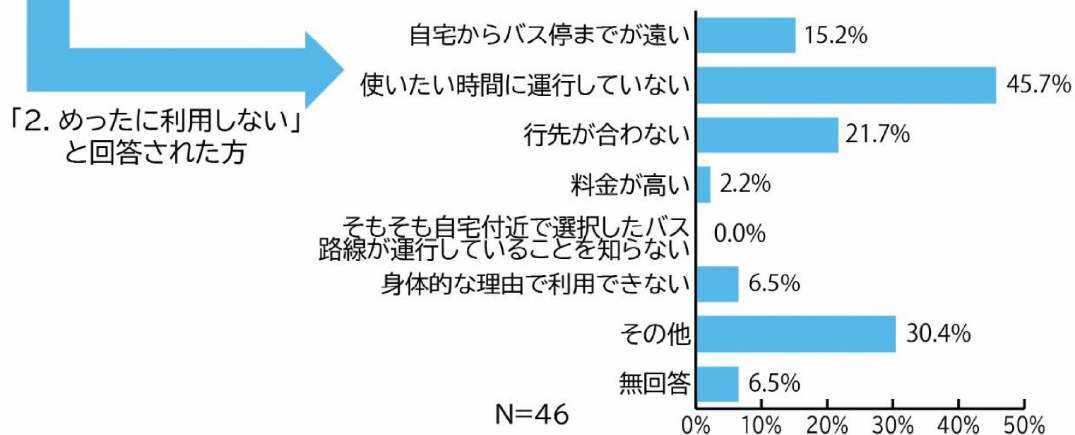


「1.1 か月に 1 回以上 利用する」と回答された方

問 30 選択したバス路線を利用する際に困っていること【いくつでも】



問 34 選択したバス路線をめったに利用しない理由【いくつでも】



「2. めったに利用しない」と回答された方

図 5-8 路線バス（広域バス路線）の利用で困っていること

7) 公共交通全般

- アンケート回答者のうち、全地区統一で「公共交通の必要性」に関する回答割合は高くなっている
- 一方で、地区別に整理すると、市街地及び計根別地区については、「便数の増便」に関するご意見が多くなっており、市街地と計根別地区・釧路方面とを結ぶ広域バス路線において、時間帯によっては1便で乗り切れない状況も発生していることが要因と考えられる
- また、郊外部については、「ルートの変更」に関するご意見が多くなっており、現在の町営バス路線が定時定路線であることで、利用したいと考える町民の自宅からバス停までの距離が遠いことが要因と考えられる

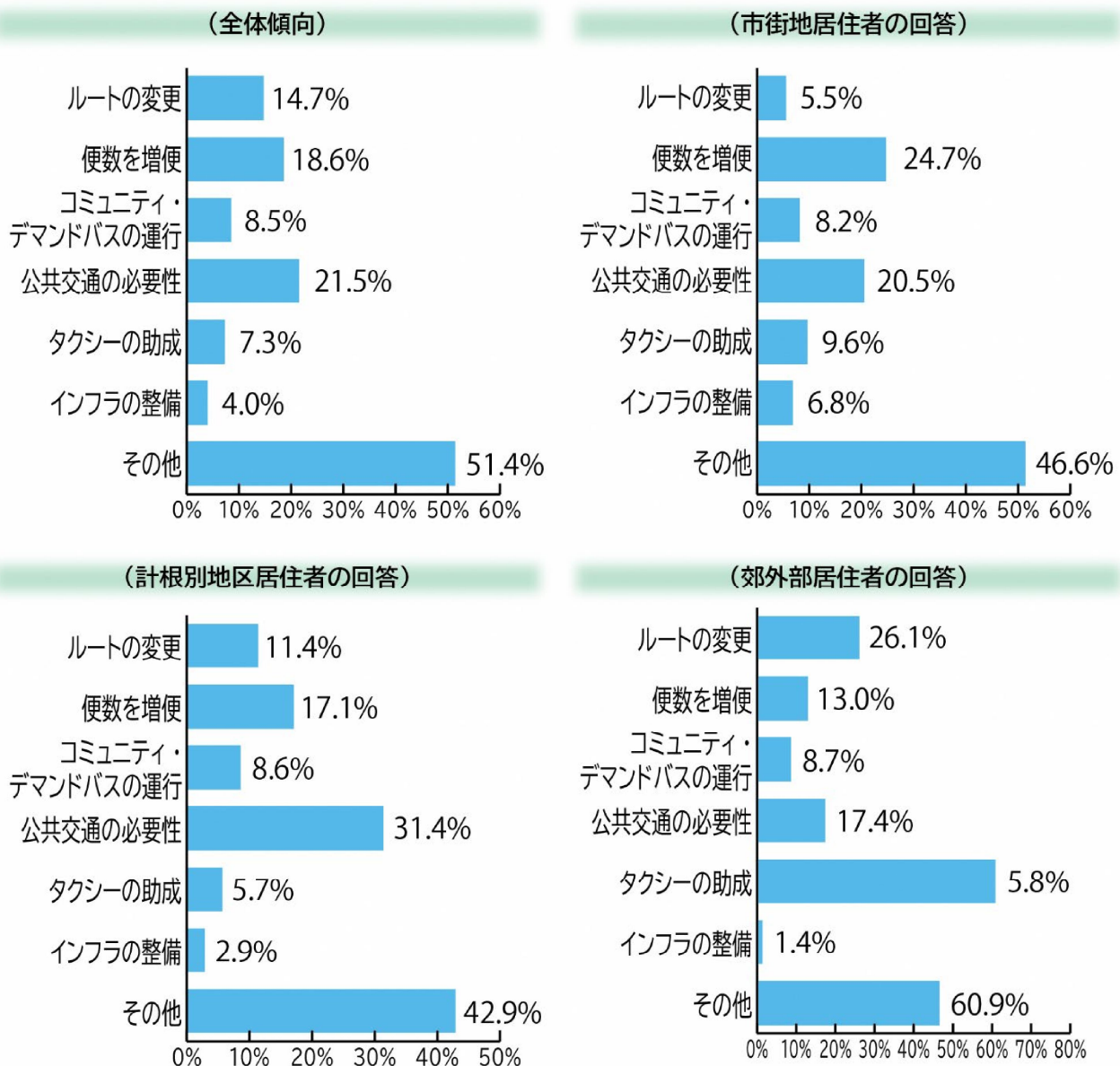


図 5-9 公共交通全般に関するご意見

5-2 町民を対象とした意見交換会

① 開催目的

町民が自主的に公共交通を利用する意識醸成を行うとともに、町内公共交通に関するニーズ把握のための意見交換会を開催しました。

② 開催概要

日時：令和4年9月27日（火）

場所：中標津町総合文化会館 しるべっと 2階 第2研修室

内容：18:30～19:00 講演「地域の皆さんと創る公共交通とは～意見交換会を始めるにあたって～」
NPO 法人まちづくり支援センター 代表理事 為国孝敏 氏

19:00～20:00 意見交換会

- ・現状の移動手段及び生活圏を教えてください
- ・普段の移動で困っていることを教えてください
- ・町内の公共交通について改善してほしいことを教えてください

参加者数：講演 22 名、意見交換会 11 名

③ 結果概要

<現状の移動手段及び生活圏>

- ・買い物や通院ともに、基本的には町内
- ・移動手段は基本的に自家用車
- ・月に数回は釧路市までの通院を実施

<普段の移動で困っていること>

中標津市内線

- ・中標津市内線及び町営バスは通院などの目的と時間が合っておらず、利用が不便
- ・1 乗車の所要時間が長い

町営バス

- ・バス停が遠く、足の悪い方は利用できない
- ・目的と時刻が合っていない
- ・観光客もバスが使えず困っている

<改善してほしいこと>

中標津市内線

- ・ターゲットを明確化した運行
- ・ルートを短絡化し、所要時間を短く

町営バス

- ・デマンド交通への転換
- ・曜日運行など利用目的に合わせた運行
- ・観光客も利用できる交通への再編



図 5-10 意見交換会の様子

5-3 町民や関係者の意向等の整理

前段で整理した「町民を対象とした公共交通に関するアンケート調査」及び「町民を対象とした意見交換会」の結果から見えた公共交通に対する町民ニーズについて、以下の通り整理します。

表 5-2 各種調査結果から見えた公共交通に対する町民ニーズ

種別	課題
全体	・ 買い物や通院時の移動手段の確保 ・ 生活圏内で拠点間を結ぶ交通の確保
中標津市内線	・ 利用者ニーズに即した運行時間帯への変更 ・ 所要時間の短縮 ・ 運行内容の周知
町営バス	・ 利用者ニーズに即した運行時間帯への変更 ・ 利用状況、利用目的を踏まえた効率的、利便性の高い交通体系への変更 ・ 運行内容の周知
広域バス路線	・ 通学時間帯における市街地-計根別地区間の増便